

地域社会のために、ひたむきに。  
次の100年のために、着実に。



次の100年の  
まちづくり  
人づくり

# さはら 充 恭

発行所 〒448-8651 刈谷市豊田町1丁目1番地トヨタ紡織労組内

## 1) 9月定例会報告～企画総務委員会で各種質問・提言をしました。

### ①さはらが提言★**体育施設の屋外照明のLED化が実現に向け動きだしました。**



'21年6月定例会  
一般質問で提言  
佐原 充恭 議員

市内の様々なスポーツ施設の照明、小中学校のナイター照明等のLED化を進めるべき。運動施設としての機能向上に加え、大規模災害時の避難所や復旧拠点としての機能向上にもつながる。担当部署間で連携し、一括更新するなど効率的に実施願いたい。

#### 進捗状況を質問



C02も削減!

市答弁: 体育施設の屋外照明に加え、駐車場や公園トイレなどの屋外施設について、★LED化に向けた検討を始めている。今後、スケジュールや導入手法について検討した後、工事を進めていきたい。屋外照明は多岐に渡るが、器具の劣化状況を考慮しながら個別整備・一括整備など施工時期の調整を行うとともに、整備手法についても検討していく。

#### 今後の取り組み



ナイター照明がある主なスポーツ施設及び学校: ウイングアリーナ刈谷、刈谷市体育館、ウェーブスタジアム刈谷、グリーングラウンド刈谷、刈谷球場、港町グラウンド、双葉グラウンド(写真)、市内6中学校及び平成小学校。  
→アフターコロナにおけるスポーツ施設の更なる活用のみならず、有事への備えやカーボンニュートラルへの貢献にもつながる。早期のLED化にむけ、引き続きフォローしていく。

### ②街頭防犯カメラの更なる活用と特殊詐欺対策について質問、提言。

#### ☆さはらの提言

『市内の犯罪認知件数が1-7月暫定値で大幅増(前年比+107件)となっている。街頭防犯カメラの更なる活用(設置位置見直し、増設、設置補助制度の拡充等)をお願いする。例えば豊田市では、犯人検挙率向上等の為、幹線道路の交差点約70か所にカメラを増設する予定である。また、特殊詐欺も急増している。7月末時点の県内の被害総額は16億4,029万円で、昨年同時期の約1.7倍となっている。』

こうした事態を受け、津島警察署は「留守番電話設定します隊」を編成した。これは警官が個人宅を訪問し、固定電話の留守番電話に「詐欺対策中。この電話は録音されます。御用の方はお名前とご用件をお願いします。」というメッセージを吹き込む活動である。

こうした取り組みも参考にすべき。カメラの抑止力を最大限に生かすとともに、抑止力が及ばない事案にも、知恵を絞って対策をしてほしい。』



この電話は録音されます



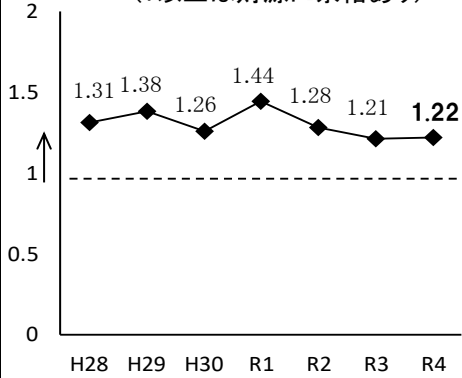
## 2) 9月定例会報告～令和4年度決算を認定。財政の健全性は維持されています。

単位:千円

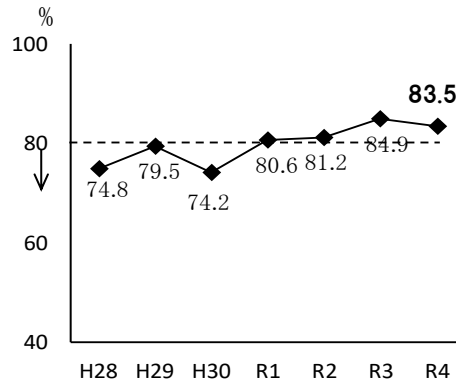
四捨五入の関係で多少の誤差が生じています

区分		令和4年度決算	対前年増減率	令和3年度決算	
総計	歳入	一般会計	69,528,495	-3.8%	72,273,644
		特別会計	23,831,093	-0.4%	23,920,542
		計 ①	93,359,588	-2.9%	96,194,186
算額	歳出	一般会計	62,842,310	-2.8%	64,672,811
		特別会計	22,238,846	1.4%	21,934,977
		計 ②	85,081,156	-1.8%	86,607,788
形式収支①-②		③	8,278,432	-13.6%	9,586,398
翌年度繰越金		④	2,012,100	-21.0%	2,547,941
実質収支③-④		⑤	6,266,332	-11.0%	7,038,457
単年度収支(R4⑤-R3⑤)			-772,125	-	-703,743

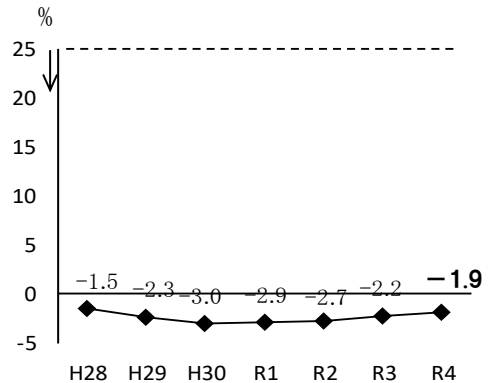
財政力指数  
(1以上は財源に余裕あり)



経常収支比率  
(80以下は財政弾力性あり)



実質公債費比率  
(25%以上は財政の早期健全化必要)



### ● 決算所見

歳入総計は対前年比約▲28.3億円(▲2.9%)、歳出総計は対前年比約▲15.3億円(▲1.8%)となり、実質収支は約62.6億円の黒字、単年度収支は約7.7億円の赤字となりました。財政3指標は、財政力指数はほぼ横ばいとなりましたが、経常収支比率は4年連続で80を超えました。財政の健全性は維持され、税収も回復傾向にあります。尚、個人市民税収は約123.6億円(前年比+2.3%)、法人市民税収は約30.2億円(前年比+39%)、固定資産税収は約166.7億円(前年比+4.5%)、財政調整基金残高は約79.8億円(前年比+6%)でした。

コロナ5類移行や法人市民税の増収などにより、社会経済活動は回復しつつありますが、依然、先行きは不透明です。スタートアップ企業の育成等、自動車産業に続く第2の柱づくりや、災害に強いまちづくり等を通じ、激しい変化にびくともしない刈谷づくりが必要だと痛感しています。第2期稲垣市政の動向を注視し、内容を吟味してまいります。



## 3) 9月定例会報告～補正予算案が可決しました。主な事業をご紹介します。

### 刈谷の魅力発信事業(拡充)

総事業費:36,865千円

シティプロモーション推進及びにぎわい創出の為、周遊型の謎解きイベントを開催する。



### インフルエンザ予防接種費用

#### 臨時助成事業(新規)

事業費:24,220千円

生後6か月～中学生までのお子さんの接種費用の一部を助成する。



### 商業者応援デジタル

#### クーポン事業(新規)

事業費:140,000千円

市LINE公式アカウント登録者に対し、市内中小規模の店舗で利用できるデジタルクーポンを発行する。



### 都市拠点活用推進事業(拡充)

総事業費:38,120千円

刈谷駅南北連絡通路の一部を民間に開放、物販等に活用し、公共空間のにぎわいを創出する社会実験を行う。

